

令和2年度学校評価（前半）を振り返って

学校評価にご協力ありがとうございました。

令和2年度学校評価（前半）の集計結果をお知らせします。

今年度も保護者の皆様、児童（低、高学年別）、教職員による評価（振り返り）をアンケート形式でご協力いただき、保護者の皆様には全児童数の95%のご回答をいただきました。ありがとうございました。

洛央小学校では、「学びの広がり、深まりとつながりのある学校」を教育目標とし、「～他者と協働し、学び合う子の育成～」をめざす子ども像として、教育活動を進めています。今回の集計結果を真摯に受け止め、後半以降の教育活動の改善に繋げていくように活用させていただきたいと考えております。

① 子どもは自ら学ぼうとしていますか。（保護者）**自ら学ぼうとしていますか。（児童）****子どもが自ら学ぶように支援していますか。（教職員）**

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	32.7%	50.1%	15.6%	1.6%
児童（高学年）	30.9%	48.5%	17.3%	3.3%
児童（低学年）	43.2%	38.6%	14.0%	4.2%
教職員	53.6%	46.4%	0.0%	0.0%

「自ら学ぶこと」について、低学年児童や教職員は9割以上の回答者が、「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。一方、高学年児童や保護者は「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答した割合が約17%～20%とやや高い傾向が見られました。

「自ら学ぶこと」は学習において非常に重要な要素です。自ら学ぶことを進んで行う児童を育てるために、高学年児童にも学習することが楽しいと感じられるよう授業を工夫したり、児童自身の興味関心を的確につかんだり、学習した成果を適切に認め励ましたりすることが大切であると思います。こうした視点から授業の充実も図っていきたいです。

② 子どもは嫌なことでも我慢して頑張ることができていますか。（保護者）**いやなことでも我慢して頑張ることができていますか。（児童）****嫌なことでも我慢して頑張ることができるよう支援・指導していますか。（教職員）**

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	26.2%	58.6%	13.6%	1.6%
児童（高学年）	43.9%	41.3%	11.8%	3.0%
児童（低学年）	54.2%	34.6%	8.9%	2.3%
教職員	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%

「我慢して頑張ることができる」については8割から9割の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。高学年児童や保護者の回答は15%程度が「そう思わない」「あまりそう思わない」になっていました。

学びを広げたり深めたりするには、苦手なことでも我慢して粘り強く取り組むという経験や実践が必要な時もあります。児童の成長にとって必要な時には、我慢してやり抜くことができるよう支援したり指導したりしていきたいと思います。学年が上がるにつれて、学習内容の難易度も上がり、取組も質の高いものを求められるようになります。挑戦したり乗り越えたりした時に共に喜べるような関わりをしていきたいです。苦手なことをやり抜いた時などにほめる言葉をかけていただければうれしいです。

③子どもは友達と力を合わせて活動することができていますか。(保護者)

友達と力を合わせて活動することができていますか。(児童)

友達と力を合わせて活動することができるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	45.8%	49.2%	4.3%	0.7%
児童(高学年)	62.6%	31.6%	4.0%	1.8%
児童(低学年)	65.8%	23.6%	8.7%	1.9%
教職員	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

「友達と力を合わせる事」については、ほぼ9割以上が「そう思う」「大体そう思う」という回答結果でした。昨年度も同様の結果で、継続していることを非常にうれしく思います。しかし、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した児童も低学年で10%ほどいました。

今年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため、小グループでの話し合い活動や課題グループでの活動、給食や掃除などの当番活動、たてわりグループや係の活動、委員会やクラブ活動など、力を合わせる場面に制限がかかることが非常に多くありました。密を避けながらも友達と力を合わせる機会をどうすれば確保できるのか、今後も検討していきたいと思えます。

④子どもは他の人に優しくすることができていますか。(保護者)

他の人に優しくすることができていますか。(児童)

他の人に優しくすることができるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	49.9%	47.9%	2.0%	0.2%
児童(高学年)	55.0%	37.9%	4.9%	2.2%
児童(低学年)	59.5%	33.0%	6.4%	1.1%
教職員	53.6%	46.4%	0.0%	0.0%

「他の人に優しくすること」についても9割以上の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。「他者と協働し、学び合う子の育成」という本校のめざす子ども像に照らしてみると、他の人に優しく接することでお互いの信頼感が増し、他者との協働が一層図られることにつながるように思います。設問③とも合わせ、友達と協力し、他の人に優しくできる児童であり続けてほしいと願っています。

⑤子どもは自分のことを大切に思っていますか。(保護者)

自分を大切に思っていますか。(児童)

自分のことを大切に思えるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	52.0%	43.1%	4.7%	0.2%
児童(高学年)	60.7%	28.3%	6.2%	4.8%
児童(低学年)	75.7%	17.8%	4.2%	2.3%
教職員	53.6%	46.4%	0.0%	0.0%

「自分のことを大切に思う」については約9割の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。この項目も昨年度に引き続き、良い傾向がうかがわれます。自分の良さを自覚し、自信をもって学習や活動を進めていくことは、生きていくうえでも非常に大切な要素であると思えます。自分の良さや得意なことを表現しながら、人とのつながりを一層深めてくれるとうれしく思います。自己肯定感を高めるための日々の関わりや取組を今後も進めていきたいと思えます。ご家庭でのお声かけもどうぞよろしくお願いいたします。

⑥子どもは最後まであきらめずに取り組むことができますか。(保護者)

最後まであきらめずに取り組むことができますか。(児童)

最後まであきらめずに取り組むことができるよう支援・指導していますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	26.2%	56.6%	15.4%	1.8%
児童(高学年)	42.5%	41.0%	13.6%	2.9%
児童(低学年)	55.7%	31.4%	11.0%	1.9%
教職員	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

設問②の「我慢して頑張ることができる」と同様に8割から9割の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。低学年児童で「そう思う」とした回答が5割以上でした。また、高学年児童でも、4割が「そう思う」という回答でした。

最後まであきらめずに、粘り強く取り組んでいくことは、学習だけでなく日々の生活や生き方にもつながります。こうした姿勢が身に付くよう、今後も様々な場面で支援していきたいです。

⑦子どもは進んで運動していますか。(保護者)

進んで運動していますか。(児童)

進んで運動できるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	34.5%	36.0%	24.4%	5.1%
児童(高学年)	49.8%	25.1%	15.7%	9.4%
児童(低学年)	60.6%	24.2%	10.6%	4.5%
教職員	39.3%	46.4%	14.3%	0.0%

「進んで運動すること」については、前年度での調査でも同様であったように、「そう思う」と回答した割合が立場によって様々でした。低学年児童は、非常に高く60%以上が「そう思う」という回答でした。高学年児童では49.8%とやや低調でした。ただし、「大体そう思う」を含めると、どちらも8割の児童が運動していると回答していました。

健やかな成長のためには、一定の運動をすることも大切です。休み時間や体育の学習はもちろん、進んで運動できるような取組を今後も考えていきたいと思います。

⑧子どもは好き嫌いせずバランスよく食べていますか。(保護者)

好き嫌いせずバランスよく食べていますか。(児童)

好き嫌いせずバランスよく食べるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	29.5%	41.6%	22.7%	6.2%
児童(高学年)	38.6%	35.7%	18.7%	7.0%
児童(低学年)	45.5%	37.1%	11.0%	6.4%
教職員	46.4%	42.9%	10.7%	0.0%

「好き嫌いせずバランスよく食べること」については「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した保護者が約30%、高学年児童が約25%、低学年児童が約17%でした。昨年度調査に比べると、「そう思わない」割合がやや増えていました。成長をしていく上で、食事大切な要素の一つです。学校給食では栄養のバランスを考慮して献立を作成しています。今後も学校と家庭とが連携してよりよい食事ができるよう支援指導していきたいと思います。

⑨子どもは安全に気を付けて生活することができていますか。(保護者)**安全に気を付けて生活することができていますか。(児童)****安全に気を付けて生活することができるよう支援・指導していますか。(教職員)**

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	42.3%	51.9%	5.8%	0.0%
児童(高学年)	55.1%	37.1%	5.1%	2.7%
児童(低学年)	70.1%	23.5%	4.9%	1.5%
教職員	60.7%	39.3%	0.0%	0.0%

「安全に気を付けて生活すること」については、9割以上が「そう思う」「大体そう思う」という回答でした。

日常生活の中で、「安全に気を付ける」という場面は数多くあります。実験で器具の正しく扱ったり手順をしっかりと確認したりすること、調理実習で火傷に注意すること、運動中に周りの様子を確認すること、廊下を走らずに歩くことなど学校の場面でも様々な場面で安全に気を付けて生活をしています。

その中でも、交通安全については十分な注意を払ってほしいと思います。事故が起きてしまってからでは取り返しがつきません。ついつい歩道を走ってしまったり、歩道から外れてしまったりしている児童の姿を見かけることもあります。安全に対する高い意識を実際の行動に表すことができるよう、来年度も指導を続けていきたいと思います。また、警察や子ども見守りたい、PTAなどの皆様とも協力する取組も同様に進めていければと考えています。

⑩子どもが目標をもって学習したり生活したりしていますか。(保護者)**目標をもって学習したり生活したりしていますか。(児童)****子どもが目標をもって学習したり生活したりするよう支援・指導していますか。(教職員)**

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	24.9%	46.8%	25.2%	3.1%
児童(高学年)	41.4%	34.1%	18.3%	6.2%
児童(低学年)	50.9%	30.2%	13.2%	5.7%
教職員	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%

「目標をもって学習したり生活したりすること」については「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した保護者で約30%、高学年児童が約25%、低学年児童で約20%でした。昨年度に比べて「そう思わない」という割合が少し増えています。

今年度から京都市では「生き方探求パスポート」の運用を開始しました。子どもたちが「なりたい自分」に向かって、自分ことをじっくりと見つめていくことを大切にすることがねらいです。設問⑤にもあるように、自分の良さや得意なことを自覚し、自分の成長を見つめることで将来の目標にも意識を向ける機会になればと思います。

授業では、どんなことを学習するのかを明確にして進めています。今後も学習や取組において、どんなことを目指すのか、どのような力を付けていきたいのかを児童に示しながら、活動をしていきたいと思います。ご家庭でも学習や生活の中での目標についてお話いただく機会をもっていただければありがたいです。